

令和4年度がスタートしました。今年度は2コース6フィールドによる新たな教育体制に加え、夏の校舎移転と、将来を見据えた新生龍谷構築の大きな節目の年となります。

その過程を出来る限りリアルタイムに伝えられるよう、校長室からも日頃の「雑感」を簡単に綴ってまいります。ご覧いただけましたら幸いです。

One for all, All for one. No.1

R4. 4. 8 「着任式」

今年度、新たに頼もしい3名の先生方をお迎えしました。お三方とも各々の分野で素晴らしい実績をお持ちの先生ばかりですので、今後のご活躍が本当に楽しみです。



【齊藤 薫先生】 国語のスペシャリストとして道立高校5校を経験され、国語の魅力から受験対策まで幅広いニーズに応えられる経験豊富な先生です。

合唱や軽音の経験もお持ちですので、音楽に関心のある人は必ず良いアドバイスがもらえるはずですよ。

【伊藤 和稀先生】 本校では地歴公民を担当していただきますが、他にも商業と情報の教員免許まで持っていらっしゃる向上心豊かな先生です。高校時代はサッカー部主将として全国大会出場の実績を持つ正真正銘のアスリート、体育系部活動生徒の憧れの的となること間違いなしです。

【畑山 寛英先生】 数学の先生としてお迎えしましたが、どこかで見かけたという生徒さんも多いのではないのでしょうか。大学時代から教師としての素養に優れ、前年度から「学び支援」の講師として来ていただいていたいました。剣道2段の腕前で、まさに高い次元での文武両道のお手本と言えます。

One for all, All for one. No.2

R4. 4. 8 「始業式」



コロナ禍の影響から、今回は対面による集会形式ではなく校内放送を使って行いました。

3年生の皆さんには、間近に迫る進路を真剣に考え、一日一日を大切に過ごして欲しいことと、4月からの民法の一部改正による成年年齢の引き下げを踏まえ、言動に一層の責任を持って欲しい旨をお話しさせていただきました。

また2年生の皆さんには、無限の可能性を信じ、失敗を恐れず何事にも果敢に挑戦して欲しいことと、中堅学年として新入生の良き模範になって欲しい旨をお話しさせていただきました。

龍谷生であることに誇りを持ち、自立の精神を培い、あらゆる可能性に向かって自らの意思で羽ばたいてくれることを信じて、私たちも精一杯サポートしてまいります。



One for all, All for one. No.3

R4. 4. 8 「入学式」

保護者の皆様が見守る中、新たに268名の皆さんがご入学されました。在校生・教職員を代表し、心よりお祝いと歓迎を申し上げます。この生徒の皆さんと共に、明るく豊かな学校を築いていけることが何より楽しみです。



「誓いのことば」では、新入生代表の高桑温子さんが「龍谷生としての自覚と責任を胸に、未来に向かって進みます。(中略)なりたい自分になるために努力を怠らず、充実した高校生活を送ります」と力強く誓ってくれました。

One for all, All for one. No.4

R4. 4. 11 「部活動紹介」

本校には体育系、文化系の部活動に加え、同好会、外局を含めると26もの活動があります。部活動等の良いところは、なんとといっても異なる学年と一緒に活動したり、他校生と交流することで、知らず知らずのうちに視野が広がり、社会性や協調性が育まれることだと思います。



興味・関心のあるもの、これなら自分でも頑張れそう、これなら自分を成長させることができそう、というものがあれば是非挑戦してみてください。

ただし、入部に際しては活動の中身をよく理解した上で、無理なく続けられると確信を持ってから始めることが肝腎です。

また、部活動とは異なりますが、対面式や部活動紹介、学校祭、体育祭といった生徒会行事の企画運営に関わりたいと思う人は、生徒会役員に立候補してみるのも良いでしょう。学習、部活動、そして学校行事運営等と、自分にとってバランスの良い充実した高校生活が送れるよう検討してみてください。

One for all, All for one. No.5

R4. 4. 11 「スマホ・ケータイ安全教室」

昨近の端末（スマホ等）はパソコン並みの性能を持つだけでなく、架空の世界や危険なサイトへの通信も容易になり、私たちの理解を超える機能を有しています。便利とは言え、誤った使い方をすれば取り返しのつかない事態を招くこともあります。

昨今は、フェイスブックやライン、ツイッター等でのやりとりからの誹謗中傷、ネット商品の契約や売買等によるトラブル、ゲームへの依存症等、スマホの使用機会の増加に伴い、関連する問題も多発しています。

また、使い過ぎによる寝不足や不規則な生活からの体調不良、学習時間を確保できないことなどは、将来の夢を自ら摘み取ってしまうようなものです。

ご家庭におきましても、是非「使用ルール」を決めるなどして、生徒の自制心の涵養にご協力をお願いします。



One for all, All for one. No.6

R4. 4. 14~15 「進路講話」

14日(木)、2年生キャリアデザイン及び特進Aコースを対象に、モンテカルロ商事様のご協力を得て「進路講話」を実施しました。

また、15日(金)には3年生キャリアデザインコースを対象に、ジョブカフェ旭川様のご協力と同様の企画を実施しました。

進路目標を実現する上で必ず身につけておくべきことや企業側が求める人材など、社会人の必要な素養について、事例を交えながらわかりやすくご説明いただきました。



講師のお二方が共通して重視されていたことの一つに「挨拶」がありました。簡単なことのように思えますが、きちんとした「挨拶」が「自然に」できる人は意外に少ないものです。大人の世界も同様です。

その場を取り繕ったような挨拶や思い出したかのような挨拶は、逆に印象を損ねることがあります。日頃から「自然な挨拶」を心がけることが大切なんですね。

他にも「返事・表情・姿勢・態度・身だしなみ・話し方」など、一朝一夕でどうにかなるものではありませんが、日々の意識的な言動によって必ず身につくことが重要視されていました。この講話をきっかけに言動を意識しながら生活していく人と、反対に聞き流してしまった人の就職試験時の印象は「雲泥の差」になっていることでしょう。



挨拶は必須！

One for all, All for one. No.7

R4. 4. 19 「大学入試・入学説明会」

大学新聞社が主催する「大学入試・入学説明会 旭川会場2022」が、トーヨーホテルを会場に開催されました。本校からも大学進学を希望している生徒を中心に多くの2・3年生が参加してきました。

このイベントには、道内の国公立大や私大はもとより、道外の有名大学を含め約40校

ほどが参加しています。昨今の大学入試は入試方法が多岐に渡るだけでなく、学部名や研究内容も現代のニーズに合わせより複雑化しています。進学希望を大学名だけで決めるのではなく、進学後の研究する中身をよく理解し、将来自分のやりたいこととマッチングしているかどうかを検討した上で、後悔のない大学選びをして欲しいと思います。



大学入試の仕組みや日程、各校の学部内容等の理解を深めることで、進学に対する意識がより強固なものとなり、今後の学習意欲につながっていくことを期待しています。

One for all, All for one. No.8

R4. 4. 19~22 「面談」がスタート

2・3年生の「二者・三者面談」を始めました。日頃の生活や成績、進路に至るまで、ご家庭と様々な情報交換をさせていただいています。高校生活は将来の自立に向けた準備期間です。ある程度の距離を保ちながらも、日頃の様子や言動に留意され、必要に応じて支えになることが大切です。



学校とご家庭がお子様の情報を互いに把握することで、何をどのようにサポートしていけばよいかを明確にしていくことができます。互いの信頼関係を深め、学校とご家庭の役割をしっかりと果たし、お子様の成長を見守っていきたいと思います。お子様は皆無限の可能性を秘めているのですから。

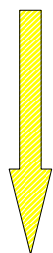
One for all, All for one. No.9

R4. 4. 22 「総合的な探究の時間」

学習指導要領の改訂により、高等学校においても「総合的な探究の時間」が本格的に始動します。学習領域が特定の教科や科目等の枠を超え、様々な課題解決に向け、横断的かつ総合的に探究していくのが、この授業の特色です。



■ 実社会や実生活と自己との関わりから「問い」を見出す



- 主体的に課題を設定し
- 情報の収集、整理・分析をする
- まとめる・表現する



また、他者と協働的に取り組む中で相手の言葉にも耳を傾け、互いの良さを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を培います。

それだけに、授業の準備は周到でならなければならないが、本校でも早くから準備委員会を設け検討を進めてきました。今日は、学習の一部支援をいただくマイナビさんの協力を得て、「総合的な探究の時間」の意義や進め方についてのノウハウを学びました。

やがて、生徒の皆さんが様々な場面でイノベーションを引き起こし、輝かしい未来を創造してくれることを考えるとワクワクしてきます。

One for all, All for one. No.10

R4. 4. 26 「生徒会総務部との懇談」

放課後、生徒会総務部の皆さんと今後の学校の在り方や生徒会行事等についてお話しする機会をいただきました。本校における生徒会総務部は全校生徒の代表であり、生徒会行事等の企画運営の中核となる大きな責務を持っています。



2年を超えるコロナ禍にあって、何とか在校生の思い出に残る取り組みをと試行錯誤を繰り返し、これまでも様々な取組みを考案してくれました。

懇談会では、教育的関心事や学校課題、今後の抱負等についてお話を伺うことができました。最近の報道ではSDGsやいじめ問題、ジェンダーといった内容に関心があること、また校内的には旧態依然から脱却しクリエイティブな発想による生徒会行事構想など、とても興味深いお話を聞くことができました。

学校は生徒と教師が一緒に創り上げていくものです。生徒の主体性とやる気を尊重し、新しい龍谷高校を築いてくれることを願っています。

One for all, All for one. No.11

R4. 4. 27 「花まつり」

花まつり法要は、お釈迦様のご誕生をお祝いするものです。経典には、お釈迦様のご誕生に天が感動し「甘露の雨」を降らしたとあります。これになぞらえ、誕生仏に甘茶をそそぎ、お祝いの心を表すことを「灌仏（かんぶつ）」と言います。

本来であれば集会形式で行う法要ですが、コロナ感染防止対策の観点から、今年度はクラスの代表者のみが仏間でこの儀を執り行いました。この儀は、お釈迦さまのご誕生をお祝いすると同時に、私たち一人一人の誕生を祝うものもあり、人間として生きていることを再確認する意味合いも込められています。



法話では、宗教教育を担当している藤島教諭から「人というのは、とかく自分の事だけを考えがちです。仏法に接することで、少しずつ心の視野を広げ、周囲をことも考えながら行動ができる人間になって欲しい。」とのお話がありました。

R4. 4. 27 「前期HR役員任命式」

花まつり終了後に「前期HR役員任命式」が放送にて行われ、生徒会総務部から各クラスの委員長・副委員長の紹介がありました。HR役員の皆さんはクラスの代表であり、大きな役割を担います。クラスをまとめたり、意向を生徒会総務部に伝えたり、中心となって牽引したりと多岐にわたります。それだけにやりがいもあるはずです。HR役員の皆さんのご活躍を期待しています。



R4. 4. 27 「交通安全指導」

自転車通学生を対象に交通安全指導を行いました。以前の同交法改正から自転車も車と同じく、大きな責任を担う乗り物として扱われるようになり、日頃からの自転車の安全利用と自転車管理の意識向上を目的に例年続けています。



本校では万が一に備え、自転車通学には保険加入を条件とし、併せてブレーキ・ライト・施錠の状況・ステッカーの貼付など細かな点検も行っています。

R4. 4. 28 「見学旅行説明会」

ここ2年、コロナ禍のために見学旅行が実施できず、今春の卒業生と現3年生には本当に寂しい思いをさせていただきました。今年度こそは何とか実施に漕ぎつきたいという思いで本日の説明会を迎えました。

今年度の見学旅行は、「関東」、「関西」、「沖縄」の3コースから選択出来、担当する各旅行業者からは、旅程、経費、保険、感染防止対策等についてご説明いただきました。

どのコースも良く練られたプランですので迷われることと思いますが、保護者の皆様にはお子様とよく話し合いいただき最終決定をお願いしたいと思います。

